

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そだちの空間 LINKS 伊川谷教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの工夫	その時に、その子に必要なことを見極めて、できることが増え、興味を持つきっかけ作りになるような立案に努めている。	前月、前々月の反省を生かした立案に務める。
2	保護者支援	保護者の状況を考え個別での対応に時間をとり、話しやすい場所作り、自分の気持ちが出しやすい場所作りに取り組んでいる。	ペアレントトレーニングなど全体での支援の取り組みにも力を入れていく。
3	保護者との共通理解	子どもの状態を理解・把握し、送迎時間やラインを有効活用して共通理解に取り組んでいる。	兄弟姉妹の情報も共有して、共通理解を深めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図るための全体での支援プログラム(ペアレントトレーニングなど)	個別での取り組みを強化していたため、全体での支援が行えていなかった。	状況に応じて個別支援と全体支援を織り交ぜながら強化していく。
2	保護者会や兄弟姉妹の交流会などの支援	1対1での対応・個別での対応に時間をとり、全体での支援が行えていなかった。	兄弟姉妹が交流できるイベントや仕事をされている保護者の方の日程調整など細かなところに目を向けていく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流会	他事業所や関連施設との交流に力を入れていた。	行事の時にこちらから声を掛け、交流できる機会を作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 そだちの空間 LINKS 伊川谷教室

公表日 2026年 3月 1日

利用児童 令和7年11月1日現在

数 23名 (兄弟姉妹関係あり)

回収数 19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				子ども達がのびのびと体を動かさせている	学習、活動、遊びと時間を決め有効活用ができるように配慮している
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				先生方の人数も多く人選にも信頼ができる	法令で必要とされている配置数は確保している。信頼できる人選に努めている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				その子に応じた環境を考えて作ってくれている	子どもの状態に応じた視覚支援カードなど環境作りに配慮している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95%			5%	清潔できれいにされている掃除をされている姿をよく見かける	1日2回の清掃、時間を決めてのアルコール除菌、各所にアルコール除菌剤の配置など子ども達の手に触れる物の清潔には特に気を配っている
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				よく理解してくれて特性にあった対応をしてくれている	職員全員が同じような対応ができるように振り返りやミーティングで情報共有をしている
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%			5%	合っていると思う	支援プログラムを元に支援方法や療育活動を決めている
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				学習面でも生活面でもよく考えて作ってくれている	保護者のニーズ、子どものニーズを反映させ、さらに将来を見据えた有効な支援ができるように作成している
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				されていると思う	子どもの発達段階と障害特性の把握に努め、その子に応じた支援内容を具体的に示している
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				行われている	職員全員で計画書の把握に努め、それらに応じた支援を実施している
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				外出、調理、ダンス、工夫されたゲームなどの企画で子どもにも興味をもつきっかけ作りをしてきている	個別活動と集団活動を織り交ぜて全員が楽しみながら療育活動に興味を持ち、参加できるようにしている
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	64%		5%	31%	児童館とはないが地域の子どもやダンス教室の子ども達とは交流がある。必要性は感じていない。	地域の各イベントに参加し交流の幅を広げている。関連事業所とは季節や行事の各イベントに参加し交流が増えている
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				初めに説明を受けた	契約時に説明をしてご理解がいただけるようにしている。また変更時には文面にてお知らせしている
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				受けました	計画書をお渡しする時には内容を説明して必ず手渡ししている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%	10%		10%	個別の対応をしてくれて助かっている	全体での取り組みはできていないが個別での取り組みは強化している
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				少しでも気になる言動や行動があると丁寧に説明してくれる	毎回連絡帳を通して、その日の状態を伝えるとともに送迎時間も有効活用し共通理解を深めている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				定期的な面談以外でも、親に対するカウンセリングも含め随時対応してくれています	定期的な面談以外に、様々な場で保護者の話を聞く機会を持ち、支援と助言に取り組んでいる
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				思います	職員全員が傾聴を心掛けて対応している
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	65%	15%		20%	日程が合う時は是非参加したい。兄弟姉妹同士の交流はないが兄弟姉妹の困りごとの話も聞いてもらえる	お仕事をされている保護者にも配慮しながら再開していきます

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95%			5%	相談すると、すぐに対応してくれる 伝言だけでもすぐに対応してくれる	送迎時に相談を受けた場合、当日内に職員全員で情報共有し対応につなげることを心掛けている
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				できていると思う。誰に伝えても対応してくれる。ラインがあるので連絡しやすい	時間を気にせず連絡できるようにラインでの連絡を有効活用している。職員は当日内の情報共有を心掛けている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	95%	5%			動画や写真が届くので楽しみにしている	活動内容や子ども達の様子をSNSに載せて保護者に見てもらえるように情報発信を行っている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%	5%			十分配慮されていると感じた	保護者には契約時に説明をして、ご理解をいただいている。職員には研修を行っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	5%		5%	最初に説明された	契約時にお話をしているが、必要に応じて見直しを行い、保護者への連絡は密に行っている。職員には研修を行っている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	95%			5%	活動内で訓練がされている 地震と火災に分けられていた	活動内容に取り組み、地震と火災に分て避難訓練を行っている。年に一度は水消火器を使つての訓練も行っている
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%			5%	されていると感じた	契約時に説明をして、ご理解をいただいている。毎日のヒヤリハットを確認し、職員全員で危険察知に取り組んでいる
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	95%			5%	小さなことでも報告がある 契約時に説明を受けた	保護者には契約時に取り組み方をご説明している。職員には、もしもの時を想定して連絡担当などの役割を決めている
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				安心して通っている	自分の気持ちが出せる場所、なんでも話せる場所、自分の居場所作りができるように取り組んでいる
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	95%	5%			楽しみにしている	思春期特有の気持ちに配慮しながら、全員が療育活動に興味をもち、楽しく参加できるように取り組んでいる
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				いろんな面でサポートしてもらって満足している	保護者にとっても自分の気持ちが出せる場所、なんでも話せる場所作りができるように取り組んでいる

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	そだちの空間 LINKS 伊川谷教室			公表日 2026年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		法令に遵守したスペースを確保している。学習、活動、遊びの有効活用ができるように配慮している。	有効活用を続けていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		法令で必要とされている職員配置を行っている。	法令遵守していく。職員の体調不良など緊急時対応の難しさが懸念されるので今後も人員確保に努めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	子どもの発達段階や特性に応じた環境作りに配慮している。	今後も続けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		掃除やアルコール除菌、各所にアルコール除菌剤の配置など、子ども達の手に触れる物の清潔には配慮している。	活動時に子ども達が動きやすい空間作りに配慮していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウンの場所や特性に応じた環境作りに配慮している。	今後も続けていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間をPDCAの検証、改善に繋げている。	強化していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		アンケートの結果をミーティング内で共有し、課題を整理し業務改善に繋げている。	今後も続けていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間に意見交換を行っている。	強化していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		保護者と事業所の評価だけではなく、第三者による外部評価は意識の向上のためにも必要だと考えている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修会、ズーム研修会、ビデオ研修会などに参加している。	偏りなく、職員全員が研修会に参加できるように配慮をしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		毎月リンクスだよりで療育活動の内容を保護者に配布している。	今後も続けていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		定期的、また状況に応じて面談、アセスメントを行い、それを元に職員で話し合い計画を立てている。	保護者のニーズに偏らず、日頃から子どものニーズの把握に努めていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員全員でモニタリング会議、支援計画会議を行って作成している。	今後も続けていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援開始前の打ち合わせ時に支援の仕方を共有し、計画書に沿った支援を実施している。	強化していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		検査結果と日々の言動・行動などの両面から捉えている。	今後も行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		子どもの発達段階と障害特性の把握に努め、その子に応じた支援内容を具体的に示している。	理解を得られるような支援内容の設定に努めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		計画立案の時は児童発達支援管理責任者と児童指導員で話し合って作成している。	今後もチームで取り組んでいく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		個別活動と集団活動を織り交ぜて全員が楽しみながら療育活動に興味を持ち、参加できるようにしている。	今後も活動後の反省や子ども達の様子を踏まえて内容の見直しを続けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		発達段階や特性に応じて、個別活動と集団活動を織り交ぜた計画書を作成し、計画に沿った支援を行っている。	今後も続けていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝のミーティング時に職員間で、その日の支援内容や役割分担、時間配分を確認し、子どもの対応にあたっている。	重要な項目についてはメモを全員の目に付くところに貼るなどの配慮をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		振り返りを行い、ミーティング記録に記入し、当日いなかった職員も閲覧できるようにしている。	共有した内容については複数回話し合いをもち、共有の再確認に努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		個人別記録、ミーティング記録、日報の特記事項などに記入して打ち合わせ時に検証し、改善につなげている。	再確認の話し合いをもち、検証・改善に繋がるように努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%	6ヶ月ごとにモニタリング会議を行い、達成度を確認しながら継続か新規目標かを決めて計画書作成をしている。	事例をあげながら、どの程度の見直しが必要か具体的な内容の把握に努めていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		その子の状況に応じた様々な体験を活動に取り入れ、その時に必要な支援や興味を持つきっかけ作りをしている。	その子に応じた「自立支援と日常生活の充実」「多様な遊びの体験」「地域交流」「主体的な参画」の活動の強化を図る。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		活動の中で「自分で考えて言葉にする」「自分で考えて行動する」などの内容を取り組んでいる。	自分で考えて選び決定できよう育ちの環境を整えていく。	
問	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が参画して情報を共有している。	持ち帰った情報は職員全員で共有し、全員の理解を深めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		体制を整えて行っているが、現在は保護者を通して行うことが多いです。	こちらから発信できるように努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		できる範囲で行っているが学校によって異なっている。保護者を通してほしいという学校も多いです。	学校との連携を強化していく。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%	児童発達支援事業所とはできているが保育園や幼稚園、認定こども園とは保護者を通して行うことが多いです。	保育園や幼稚園、認定こども園との連携も強化していく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			学校を卒業し、障害福祉サービスへの移行対象ケースが出てきた場合はそれまでの支援内容を画面にて提供していく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		研修会への参加は積極的に行っている。	今後は管理責任者や児童発達支援管理責任者だけでなく、職員全員が参加できるようにしていきたいと考えている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		放課後児童クラブや児童館との交流は現在ではできていないが関連事業所やダンス教室の子ども達との交流は強化できる。	放課後児童クラブや児童館との交流を再開できるように努めていく。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		日程調整しながら積極的に参加している。	今後も続けていく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		毎回連絡帳を通して、その日の子どもの状態を伝えるとともに、様々な機会を通して、共通理解を深めています。	強化していく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	現在は全体での支援は行っていないが、個別での支援は継続し強化している。	状況に応じて個別支援と全体支援を織り交ぜながら強化していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明してご理解をいただいている。変更時には文面にてお知らせしている。	ご理解いただけるように説明をしていく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		保護者とは面談を行い、事前にアセスメントシートや子どもの様子を記入してもらっている。子どもとは聞き取り時間を設けている。	今後も続けていく。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		計画書をお渡しする時には内容を説明して必ず手渡ししています。	今後も続けていく。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的な面談以外に、様々な場で保護者の話を聞く機会をもち、支援と助言に取り組んでいます。	今後も行っていく。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	個別の取り組みに加えて保護者会も開催しているが兄弟姉妹については状況に配慮して個別のみで行っている。	仕事をされている保護者の方の日程調整など細かなところの配慮に努めていく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		現在はないが、苦情があった場合は謙虚に受け止め、その事案に職員が迅速かつ適切に対応し、保護者の不安解消に努める。	今後も苦情がないように努めていく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月リンクスだよりを発行し、活動内容や子どもの様子をSNSに載せて保護者に見てもらえるように情報発信をしている。	強化していく。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		契約時に説明してご理解をいただいている。職員には研修を行っている。	今後も続けていく。 ご不明な点はその都度、お伝えする。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		子どもには視覚支援など本人にとってわかりやすく伝え、保護者には時間を気にせず連絡できるようにラインでの連絡を有効活用している。	今後も続けていく。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		以前は季節の行事やイベントで交流を図っていたが現在はできていないので再開できるように努めていく。	
	非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		それぞれのマニュアルを作成し、周知徹底を行っている。また、事情に応じ見直しを行い、保護者への連絡も密に行っている。	引き続き、各マニュアルの周知徹底を行っていく。
		47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		感染症発生時と自然災害発生時の計画書を作成し、方針・役割分担・対応などを職員全員に周知徹底を行っている。	引き続き、方針・役割分担・対応などの周知徹底を行っていく。
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時のフェイスシートやアセスメントで確認している。	今後も続けていく。
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	契約時のフェイスシートやアセスメントで確認している。	今後も続けていく。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		毎日のヒヤリハットの内容を確認し、職員全員で危険察知に取り組んでいる。	強化していく。	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明してご理解をいただいている。	今後も続けていく。 ご不明な点はその都度、お伝えしていく。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		日報に記入欄を設け、職員全員で共有して、対策や危険察知に取り組んでいる。	強化していく。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を行っている。なんでも話せる風通しのよい職場作りを心掛けている。	強化していく。	
54		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時に説明している。施設としての理念・方針などが記載された指針を来所時に閲覧できるように掲示している。	ご不明な点はその都度、説明してご理解を得るように努める。	